



# AutoCAD 2006 の ダイナミックブロックを早くかんたんに作る

アド設計 伊藤ゆみ

# ダイナミックブロックって知ってる？

---

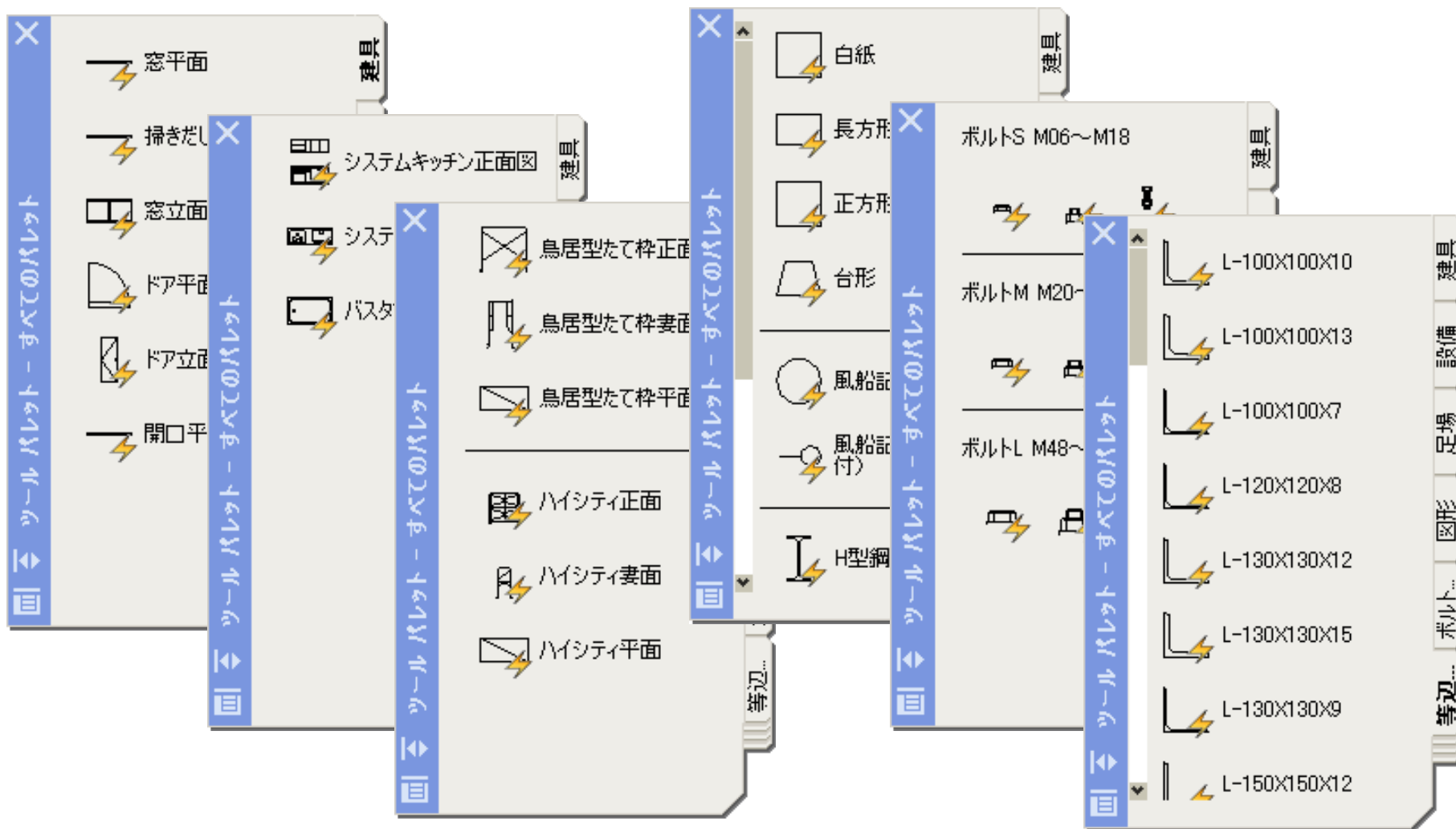
たとえばこんなとき、今までなら・・・

- 記号の向きを変えたい
- 円の大きさを変えたい
- 別のサイズのブロックに変更したい

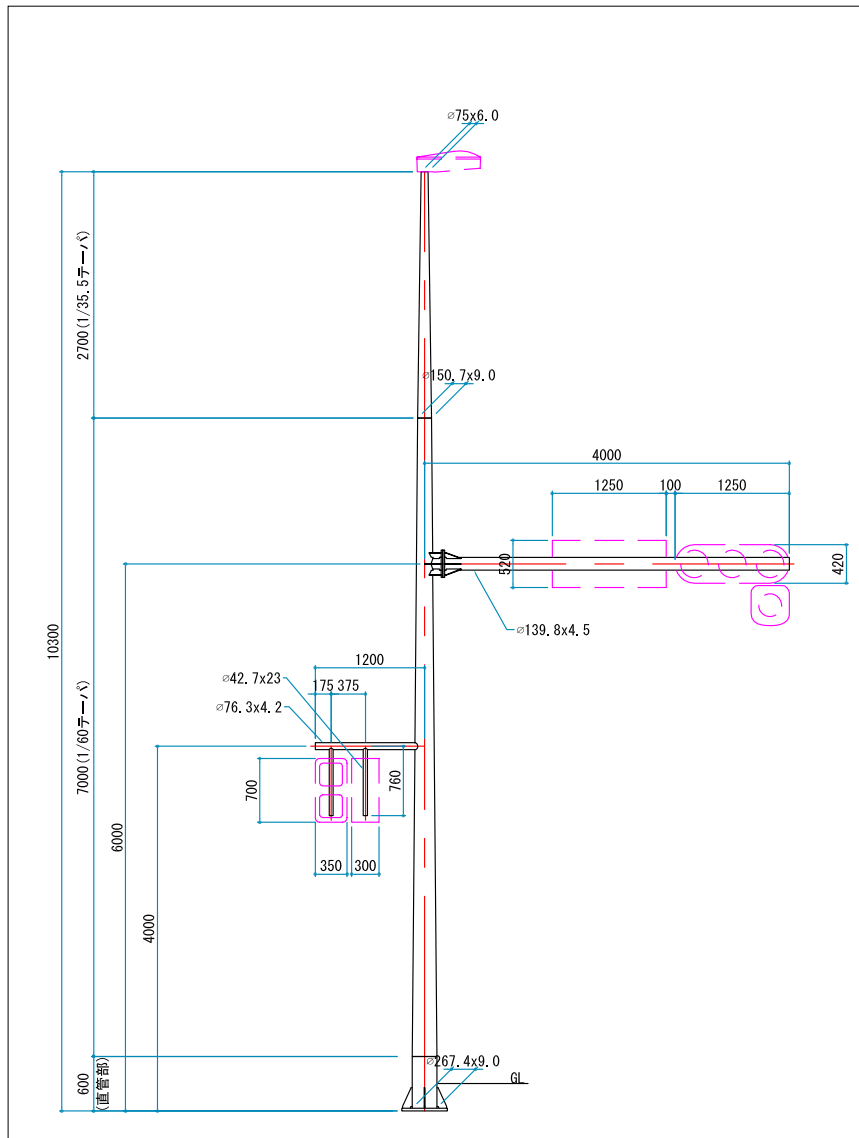
ダイナミックブロックなら・・・

- 記号を反転
- 円を尺度変更
- 可視パラメータでブロック変更

# ツールパレットにダイナミックブロック



# 照明柱をかく



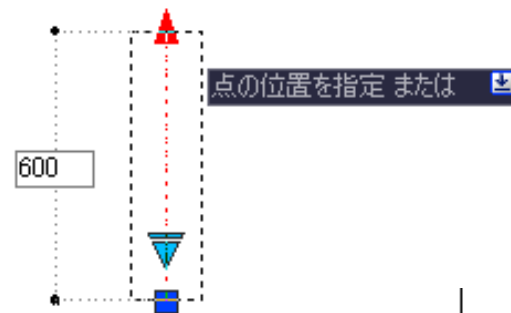
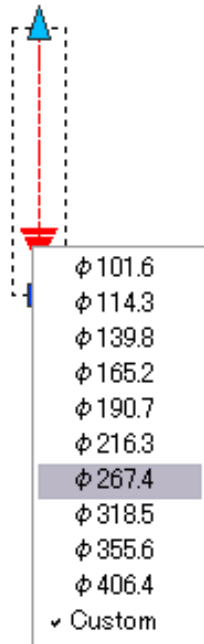
## ダイナミックブロックを使った作図例

- 柱の長さ、サイズを変更
- ブロックの形状を変更

徹底解説 AutoCAD 2006  
(エクスナレッジ社) より

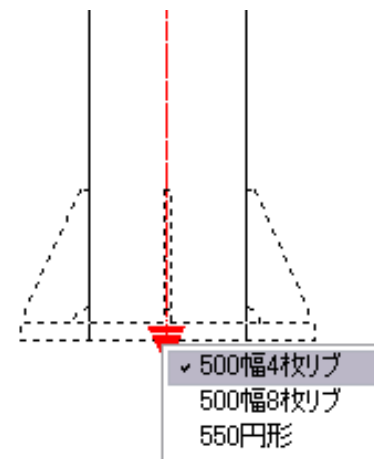
# 柱・ベースプレートを配置

1. 柱ブロックを挿入
2. サイズを変更



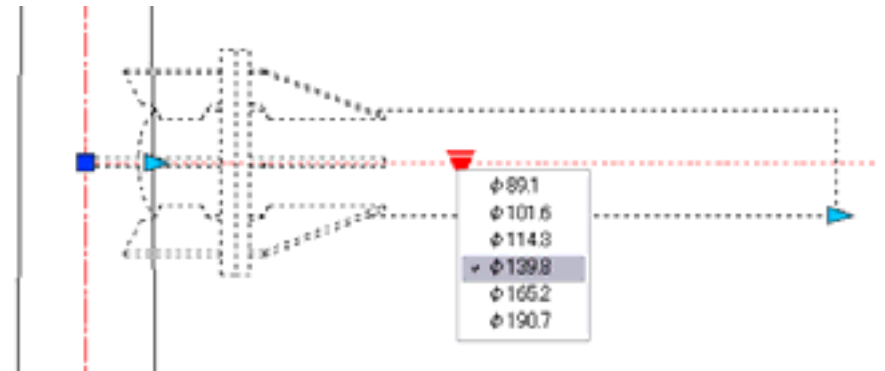
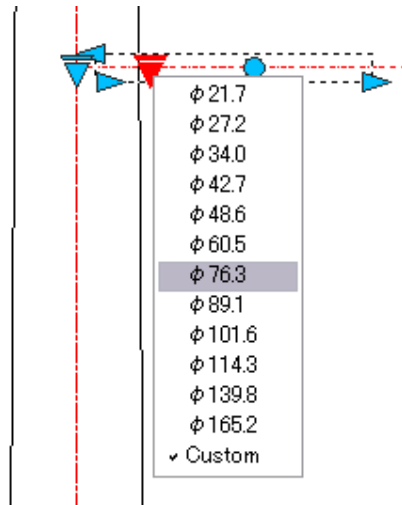
3. 柱の長さを変更

4. ベースプレートブロックを挿入
5. 形状を変更

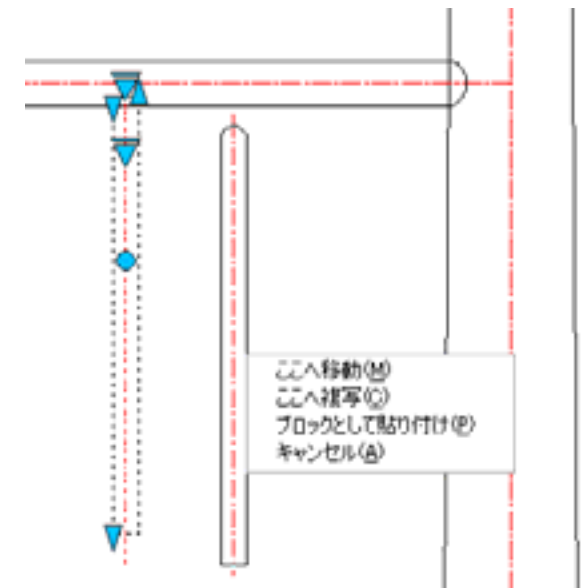
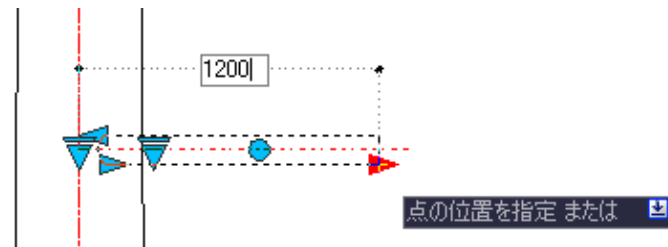


# アームを配置

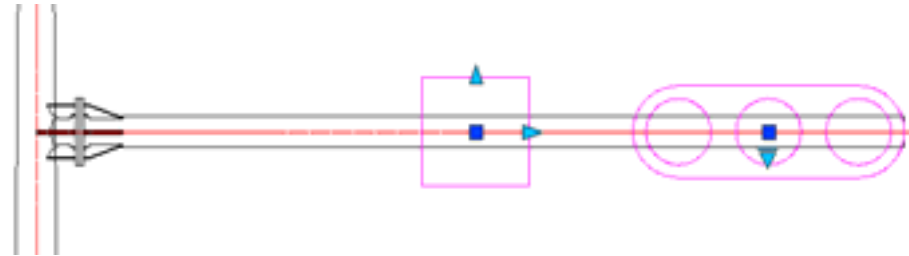
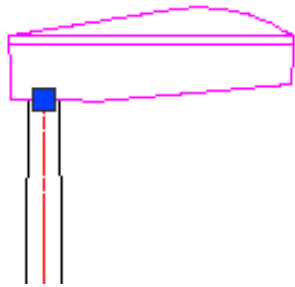
1. アームブロックを挿入
2. サイズを変更
3. 長さを変更



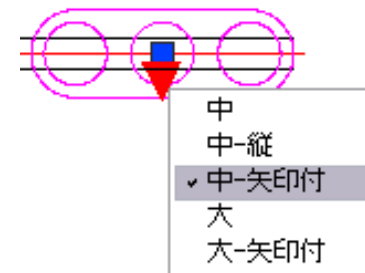
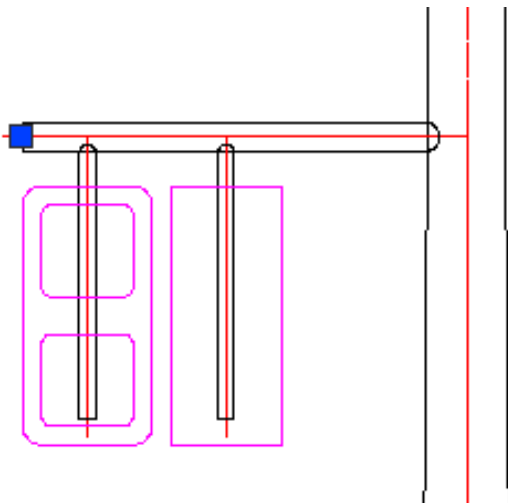
4. 別のブロックを挿入
5. サイズを変更
6. 長さを変更



# 取付物を配置して仕上げ



1. 灯具ブロックを挿入
2. 歩行者信号を挿入
3. 標識、道路信号を挿入して形状を変更
4. 細部を修正して仕上げ



# 今あるブロックを利用する

---

- 何をしたいかよく考える  
ブロックを回転させる？それとも反転？  
どんなパラメータ、アクションが必要？
- 設計に時間をかける  
あとから変更するとなかなか思い通りにならず  
余計な時間と手間がかかる

# スクリプトを使う

---

スクリプトってなに？

- AutoCADのコマンドがわかれば十分使えます
- 拡張子が scr のテキストファイル
- キーボード入力をメモ帳に保存
- 作図ウィンドウにドラッグ&ドロップで実行

詳しくはAutoCADのヘルプ「スクリプトの概要」参照

# スクリプトを使ってダイナミックブロックを作る

---

- -Bedit コマンドでブロックを開く
- Bparameter コマンドで必要なパラメータを追加
- BactionTool コマンドでアクションを追加
- Bsave コマンドでブロックを保存
- Bclose でブロックエディタを終了
  
- あっという間に出来上がり！

# 知っておくと便利なコマンド/システム変数

---

- -Bvstate [ブロック可視状態] コマンド
- Bvhide [ブロック可視非表示] コマンド
- Bvshow [ブロック可視表示] コマンド
- BVMODE システム変数
  
- -Block [ブロック登録] コマンド
- -Insert [ブロック挿入] コマンド
- -Wblock [ブロック書き出し] コマンド
- -Attdef [属性定義] コマンド
- FILEDIA システム変数

# おわりに

---

あなたもダイナミックブロックコンテストに応募してみませか？  
詳しくはAutodeskのHPをご覧ください。

<http://www2.autodesk.jp/event03/dinamicblockcontest/index.html>

参考図書：徹底解説 AutoCAD 2006（エクスナレッジ社）

- ありがとうございます。
- またお会いできることを楽しみにしています。

